

編集後記

DSM-V と ICD-11 の改訂作業が同時並行で進んでいるが、両者ともにさまざまな理由で完成が当初の予定よりも大幅に遅れることが決定的になったようである。DSM に限って言えば、1980 年に DSM-III が登場したときの賞賛を頂点として、その後、徐々にその評価が下がってきていることは明らかであり、ご当地の米国でさえも米国精神医学の屋台骨を支える人物から批判が述べられているほどである。筆者はもともと臨床に没頭していた精神科医であったために、DSM の冊子すらあまり目にする機会はなかった。しかし、研究に興味を持ち実際に携わってからは、研究対象となる症例のリクルートには DSM 診断が重要であり、さらに DSM から作成された構造化面接がなければ研究として話にならないことを学んだ。そのような過程で、DSM という便利なものがあることを改めて実体験したのである。

筆者の DSM との付き合いの歴史は以上のように比較的淡泊なものであったために、後輩の精神科医や、教室の若い医局員には“研究や薬物療法は DSM をもとに行い、精神療法は病態水準を考慮する、というように臨床ではダブルスタンダードを採用しなさい”と長年、口を酸っぱくして教育してきた。ダブルスタンダードという観点からは DSM の負の側面はほとんど問題にならず、かえって症例の客観性を担保してくれるありがたい存在でもあるために、現在のようにあまりに DSM 批判が激しい状況は筆者のような者にとっては実は居心地が悪い。結果的にどのような改訂がなされるのかは門外漢である筆者には詳細は把握できないが、いずれにしても現時点では DSM が症候から障害を分類・区分するという水準から脱却することは不可能であり、だからこそ、その限界を知ったうえで、それでもありがたい存在として利用するという付き合い方に尽きるのではないかと思うのである。

さて、本号も読みごたえのある論文が満載である。そのなかでも特に、「研究と報告」に 1 本、「短報」に 2 本、「私のカルテから」に 4 本、計 7 本の症例報告が掲載されている。精神医学の臨床を扱う本誌としてありがたいことである。

(M.H.)

■ 編集委員

朝田 隆

飯森真喜雄

井上 新平

小島 卓也

松本 英夫

松岡 洋夫

三國 雅彦

(ABC 順)

精神医学 (第 53 巻 第 1 号)

2011 年 1 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

[2011 年年間購読料 (税込, 送料弊社負担)
冊子のみ 30,600 円, 冊子 + 電子版 39,800 円, 電子版 / 個人
30,600 円, 電子版 / 共有 35,190 円]

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。

・ **JCOPY** (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。